2025年 (令和7年) 8月20日 水曜日 R) 4



紹介する。

神奈川県信連は、1920

ためにある。一方で近年、国神奈川の農業や暮らしを守る

けにとどまらず、非金融面に

を設定。具体的な施策に取り ある職場づくり」の4項目の

融資取引をはじ

奈川県信連の想いや多様なより深めようとしている神

期経営計画(2022~24年 命を「農業と地域の未来を創

前回の中

社会の活性化」

自然環境の

移す

地域

ークホルダーとの関係を

民のための事業も展開する。に地域金融機関として地域住

意

とも続ける。

サステナブル経営では、

組んでいくという私たちの決 を持ち、長期的な視野で取り ら若手まで全職員が共通認識

ビジネスマッチング支援、

に向けた農業者と県内企業の

経営理念における基本的使

えているほか、神奈川を基盤 また、融資などを通じて農業 に携わる個人や法人を直接支

取り組みを5回にわたって



■常識にとらわれない

202

浜の未来」を創りだそうと知恵を絞っている。

未来創造会議」の学生と企業による「共創プロジェクト」 の第1弾で、 自ら 「横を生み出そうと、 大学生たちが奮闘している。 横浜市が立ち上げた 「ヨコハマ

らせたアップサイクル素材「紙糸」。これを用いて暑さ対策につながる新製品

本来なら捨てられていた間伐材や使用済みの紙パッケージなどを生まれ変わ

毎月第3水曜掲載

48(昭和23)年に設立した。が前身で、現在の組織として Aの信用事業を補完・支援。 神奈川県内にある12の総合J 奈川県信用購買組合聯合会」 (大正9) 年に創業した「神

の

きたい。ぜひ、地域のJAを農業と地域の多くの方々と神奈川の

訪れてみてほし、ぜひ、

体で取り組むのはもちろんばならない。JAグループ

ながら解決に導く「アグリ

でいる

農家が抱える課題に寄り添

げている。今年は新たな中 境の持続的な発展を図る 長とともに経済、社会、環 基本的使命とし、 域の未来を創る 横浜市中区)。 「農業と地 A神奈川県信用農業協同組 台連合会(神奈川県信連、 融事業を通じて、 を組織の

ブル経営



⊳1⊲



コハマ未来創造会議」。 指し、若者らが議論する。ヨ る国際園芸博覧会 GRE 市内で2027年に開かれ 7」に向けた会議体(プラ 同 EN×EXPO かけにしてもらおうと、昨のアクションを起こすきっ 員らが参加し、 を担う学生や企業の若手社 - ム) だ。次世代 横浜発

、昨る「暑熱対策」。そこにきっ、緊の課題になると想定さ

年本格的に始動した。 産地間、10世の出された紙糸を や、ファッション性豊かな くいが、40世のに対している。 全部を引える際に周囲の数では、一次ののプロジェクトで 源を地域内で循環し、環境を等う必然終を利用して体をがある。 を記している。 一般のでは、10世のでは 品の開発なども手がける がタッグを組んだ。 境に配慮したリサイクル製み合わせた。 テーマは、園芸博でも喫 けた評価やアドバイスを生 ムの総合企業として環 活用する

ダイイチ

「共創」で製品開発に挑戦

かれ、6月にアイデア出し -という条件を組 帽子・衣類など、常識にと ムに分出そろった。

らわれない個性的な製品が ■広げたい人脈や発想 7月には同大のみなとみ 3

ではたかった」と話す。 足りないところがたくさん れたことで刺激も受けた。 ながら、 「ニーズを想定しながら と充実感を漂わせ 「多くの人と関わ

2をこなして、各役割に設17項目にちなんだミッショ などの「役割」が与えられ

力を合わせないといけな地域を良くするには多くが

実社会にも通じると思

ムを組み、行政や民間企業 が開発したオリジナルコン

子高校生は「自分のミッシ

ョンばかりを優先すると他

ムはゴールできない

の徳永彩七さ

の学生28人が参加した。

損害保険ジャパンの協力の

県内外の高校生と同大

到達と「専修大シティ ペアになり、

各自のゴール

課題の克服に向け、

話し合

ながら全体の利益を考え

した。参加した女

行われた。同大の主催で、

水が蒸発する際に周囲の熱 出し合うのは大変だった. 香さん、手塚聡一朗さんは 合ったアイデアをひたすら レゼンにこぎ着けたとい 意な分野を生かして最終プ と振り返る一方、各自の得

らしさもあり、全部回収し セチーフに使うなど) 地域 と評価された。 て土に返すなどのアイデア にも展開性が感じられる

5」が選ばれた。 (横浜市の花、バラを

協損保ジャパン

専修大が

1

がらSDG sの知識を深め

ーのゴール達成率も下がる 課題」がクリアできず持続 コメントが来場者からも多数寄せられた。会場内に並べられた「成果」の数々。努力や工夫を評価する

れの提案を受け、ダイイチ 道用教授は「学生たちに 今後ごらにブラッシュアへの選案を受け、ダイイチ 道用教授は「学生たちに 今後ごらにブラッシュア には、國業博スタップや来 価してもらえる機会になっ 相鉄線・瀬谷駅前に場で、場者の使用を前提にケープ た。今のアイデアにごらに 暑熱対策の効果を検証するやミニショッルグー、サンシ 磨きをかける—という、良 予定だ。

プレゼンテーションを実施 り、 らいキャンパスで、最終の ストデザイン賞」などを贈 それぞれの努力をたた と、一層の い循環になっていければ



域を守り、担い手を育むこと。 正れら全ての取り組みに共 川の農業は生産者と消費者が県信連の強い想いだ。「神奈 風通しの良い組織風土の醸造への食農教育などを実践。 らず、高齢化もどんどん進ん農業所得自体はなかなか上が 共存しているのが魅力だが、 職員の農業体験も実践に 鈴木理事長はこう 平和のハーモ: 池田大作氏の写真・著作から

ど苦痛と悲嘆と不幸のわびしき嵐が吹

人類が目指すべきは、多様性を尊重 互いの差異を新たな価値創造の源

かし、その家族の心の奥には、どれほ の青年たちが、戦地に行かされた。

対に反対する!

私と同じ世代の多く

私は、

断じて戦争に反対する!

絈

-ム5」のメンバー



験できる。 今 えることで、 えることで、 は「他のチー 同社担当者

が変動。この数値をバラン 設置する 「県立高校生学習

めての取り組

か、参加した各チームに「

■瀬谷駅前で「検証」も ダイイチは最優秀賞のほ

> 示す「経済」「環境」「社 定されたゴールを目指す。 る。各チームはSDGsの

国各地で展開。今回は、同同社は、同様の企画を全

大と同社が県教育委員会が

ただ、ミッションを進め う」と納得した様子だ。 だれたゴールを目指す。 い。実社会にも通じると

「農地を支えることは自然環境 を守ることにつながる」と力を 込める鈴木代表理事理事長

などをしなければならず、 農畜産物の世話、出荷の準備 だが、朝早くから夜遅くまで 物をつくることにかけてプロ

見える関係を築けている」(鈴 者が現場で対話を重ねるが、

これまであまりなかった顔が

で実現した初 シアム」に加



に感化され、ブンブンは上げていただける皆さま 力的に活動を続けますのベントに登場します。精 ご自愛ください。次回されます。皆さま、おされます。皆さま、お

HAMA SEYA ガ 瀬谷駅北口の駅前広場で しました。8月末日まで

ター「ヤマトン」とのコ同市イベントキャラク川大和阿波踊り」では、 また、大和市の「神奈とときを過ごしました。 も、さまざまなイベント まと一緒に、「ブンブン域の小学校や団体の皆さ にも顔を出して親睦を深

和市内でも開催されており、ブンブンも足を運び、地元の皆さまの活動び、地元の皆さまの活動び、地元の皆さまの活動した。最近では、商店街 谷区内のほか、お隣の大りが地元である横浜市瀬 もブンブンが登場してい

は、当協議会のマスコッブン通信13回目の今回過ごしでしょうか。ブン トキャラクター「ブンブは、当協議会のマスコッ の活動についてご報

ますが、皆さまいかがおだまだ猛暑が続いておりでまだ猛暑が続いておりです。ま フンブンに会いに来て 地 緒に「音頭」踊ろう

広告

神奈川創価学会は、国連で採択された

SDGs (持続可能な開発目標)



く地球社会の建設なのだ。 在。として尊重され、 いかなる民族も、、が共栄である。そして、 泉とし、プラスの影響を与え合う共存

(株)アイシマ、LIG(株)、(株)大林組 鹿島建設(株)、神奈川美研工業(株)、(株)カンパイ、 カワセ薬局、共同企業体 相模アスコン、 (株)ジェイコム湘南・神奈川、seya sogo guard、 相鉄ホールディングス(株)、(有)第一産業、大洋建設(株)、 (株)露木建設、(株)テレビ神奈川、TOPPAN(株)、 (株)原商会、Blanc Daisy、(株)丸子商事、

"かけがえのない存

大和市、ユナイト(株)、(株)連合社印刷 横濱花博連絡協議会 横浜市瀬谷区瀬谷 1-30-10 TEL: 045-442-3484

(株)丸善岩﨑農園、(株)安田物産、学校法人八ッ橋学園



パオ祭り」にも参加。